

平成 25 年度 関東支部運営委員会 (第 3 回) 議事録

- ・ 日 時 : 平成 25 年 9 月 30 日 (月) 14:00~17:00
- ・ 場 所 : J G S 会館 地下 A 会議室
- ・ 出席者 : 國生, 石橋, 菊池, 佐伯, 佐々木, 田中, 小椋, 石原, 太田, 小峯, 坂上, 若月, 清木 (西村代理), 濱本, 松島, 並河, 重村, 橘, 青木 (事務局)
- ・ 欠席者 : 後藤, 西村, 若井, 田中, 森川

1. 前回議事録等の確認

- ・ 平成 25 年度第 2 回運営委員会議事録 (7/30) 【別紙—1】

→報告、承認

2. 最近のスケジュール

- ・ 関東支部発表会 (Geo Kanto 2013) : 平成 25 年 10 月 4 日 (金)
- ・ 第 1 回評議員会 : 平成 25 年 10 月 17 日 (木)

→報告

3. 本部からの連絡・検討依頼事項

- (1) 平成 25 年度地盤工学会賞候補推薦のお願い 【別紙—2】

→推薦なし。本部より企画賞推薦依頼の時点で、「浦安市市民相談会関連事業」を推薦する。

- (2) 第 49 回地盤工学研究発表会 (北九州大会) DS 等のアンケート回覧のお願い

→関東支部では DS 開催予定なし。 【別紙—3】

- (3) 本部技術普及委員会から講習会案内メーリングリスト配信依頼 9/20・21 開催「地盤・耐震工学入門講習会」 【別紙—4】

→報告

- (4) 平成 24 年度末除籍者への会員継続のお願い 【別紙—5】

→報告

- (5) 支部 HP に関する本部広報委員会への回答 【別紙—6】

→報告

- (6) 支部事務に関する本部総務部への回答 【別紙—7】

→報告

- (7) 関西支部支部長交代 : (新) 池内幸司様 (国交省関西地方整備局) 【別紙—8】

→報告

- (8) 訃報 : 山本稔様 (名誉会員、東京都立大学名誉教授) 【別紙—9】

→報告

- (9) 訃報 : 山門明雄様 (名誉会員、功労賞受賞者、法政大学名誉教授) 【別紙—10】

→報告

- (10) 「地盤工学会誌」合併号発行のお知らせ 【別紙—11】

→報告

4. 支部からの周知・連絡・検討事項

- (1) 第 1 回評議員会について 【別紙—12】

- ・ 会告案
- ・ 評議員会資料の提出依頼 (各グループ)
- ・ 評議員会後の特別講演会 : 講師 吉岡和弘 様 (吉岡和弘法律事務所)

→報告

- (2) 平成 25 年度関東支部賞候補の募集 【別紙—13】

→報告

- (3) 1964年新潟地震記念事業 【別紙—14】
→報告
- (4) 模型寄贈の御礼状 【別紙—15】
→報告 本部会誌に掲載を企画する。(会員 SG)
- (5) 平成 25 年度予算執行状況について (8 月末現在) 【別紙—16】
→報告、承認
5. 開催結果, 進捗状況の報告
- (1) 10 周年記念事業委員会について 【別紙—17】
→報告 「街頭キャンペーン」、「シビックセンター展示」、2 種類の企画を進める。
- (2) 出前講座: 地盤の液状化・対策と佐原の町並み (10/5) 【別紙—18】
→報告
- (3) 「戸建住宅の液状化対策」講習会 (10/16) 主催: 神奈川県建築士会 【別紙—19】
→報告
6. グループ別の実施計画・進捗状況・その他報告事項
- (1) 会員サービス G 【別紙—20】
→報告、幹事交代承認
ソイルストラクチャーコンテストでの土材料、山梨の土 10~20kg 未調達。富士山の土が良いのではないかとの意見あり。
- (2) 茨城県 G 【別紙—21】
→報告、「高校生のための地盤の基礎知識」印刷は基本的に承認。ただし、印刷部数、費用などは検討の上、メール審議とする。
- (3) 栃木県 G 【別紙—22】
・メール審議 (8/9 配信→開催承認):
「盛土・擁壁と切土・自然斜面の自然災害—災害事例と
設計・補強・復旧に関する勉強会」9/18 開催
→報告、「OHYA UNDERGROUND SYMPOSIUM」10 周年記念事業として 30 万の追加支出 (計 80 万) 承認。
(総額 160 万の内、半額を宇都宮市負担)
- (4) 群馬県 G 【別紙—23】
→報告
- (5) 山梨県 G 【別紙—24】
・メール審議 (9/3 配信→開催承認): 下記 2 行事とも、関東支部 10 周年記念行事
「ニューパラダイム: 不飽和土質力学」10/10 開催
「南九州しらす地帯での土砂災害について—地盤工学的視点から—」10/11 開催
→報告
- (6) 千葉県 G 【別紙—25】
→報告
- (7) 埼玉県 G 【別紙—26】
→報告
- (8) 神奈川県 G 【別紙—27】
→報告
- (9) 研究委員会 G 【別紙—28】
→報告 委員の追加承認、「液状化から戸建て住宅を守るための手引き」増刷 300 部承認
地盤隆起委員会報告書製本費用については、想定販売部数を考慮して 150 部の妥当性、カラー印刷の必要性を明確にすること。

(10) 支部発表会 G

【別紙-29】

- ・今年度発表会 GeoKanto2013 について
- ・次年度発表会の実施運営体制について

→報告、承認

(11) 企画総務 G

【別紙-30】

→報告

8. その他

(1) 退会届

なし

→報告、承認

(2) 次回 (第4回) 運営委員会予定日 平成 25 年 12 月 16 日 (月) 14:00~17:00

<今後の発表会に関する議論>

- ・発表会参加者増大の検討は、運営委員会の検討事項とする。
- ・来年度は東京会場にて実施する。会場予約を早急に行う。(発表会 G 検討)
- ・再来年以降の発表会は、次回運営委員会にて検討する。学生主体、社会人主体などの基本的方向性を決定する。

- ・今年度発表会対応は、昨年度と同様な依頼などを行ったが参加者-5%程度と予想される。
- ・企業参加者が少ない理由は、論文作成が障害になっている可能性がある。このため技術展示などを主体としてはどうか。
- ・本部発表会との差別化を図るべきである。ポスターセッション主体。
- ・発注者による技術展示であれば、企業が興味を持ち、参加する可能性が高い。
- ・本部発表会と関東支部発表会への二重投稿は、費用面、同じ内容を発表することに対するモラル感などで企業参加の障害になっている可能性がある。
- ・発注者による企業との連名発表を促進する。発注者に計画中事業でも発表できるように促す。
- ・企業が興味のある内容にすべきである。

<講習会案内や協賛などの判断について>

- ・迅速化の為、支部長、幹事長が判断し、運営委員会に事後報告とする。